

2022年6月30日
株式会社NTTドコモ

「ドコモの5G 必須特許保有数は世界第4位、通信事業者として世界首位をキープ」 ～規格整合率においても世界トップレベルと評価～

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、株式会社サイバー創研による調査「5G 標準と5G ビジネスを支える5G-SEPと実現特許の急増要因を分析」(以下、本調査)^{※1}において、第5世代移動通信方式(以下、5G)のサービスを提供する際に必要な5G 標準規格で必須の特許(以下、5G 必須特許)の保有数が前回調査(2021年11月)^{※2}と同じく世界で第4位という上位であり、通信事業者の中では首位と評価されました。

本調査は、2020年10月^{※3}、2021年4月^{※4}、2021年11月に続く第4弾となります。これら一連の調査において、ドコモの5G 必須特許保有数は一貫して世界で上位と評価を頂いております。ドコモは、5G 立ち上げ当初から現在に至るまで、5G 通信技術の仕様策定を行う標準化会合において、お客さまにより良いサービス提供のために、日本の通信事業者としてサービスに取り込むべき技術提案等を精力的に進めて参りました。今後、更なる5G 高度化及び Beyond 5G (以下、B5G)に向けた標準化活動においても、引き続き5G 及び B5G の知財取得・標準化に取り組み、世界・日本の通信技術の発展に貢献して参ります。

また、本調査によれば、5G 標準規格に対してFRAND^{※5} 宣言された規格必須特許に関し、ドコモは規格整合率においても世界トップレベルと評価を頂いております。ドコモは、出願特許の技術について、5G 標準規格への採用を十分に精査した上で、約1,600ファミリー^{※6}の技術を5G 必須特許としてFRAND 宣言を行っており、宣言の透明性向上のため、引き続き正確な情報発信に努めて参ります。

今後もドコモは、お客さまにより良いサービスを提供するため、またモバイル通信の未来を切り開くため、引き続き研究開発や標準化活動に取り組んで参ります。

※1 <https://www.cybersoken.com/blog/topics/2022/06/01/3082/#more-3082>

※2 <https://www.cybersoken.com/blog/topics/2021/11/08/3037/>

※3 https://www.cybersoken.com/file/press_5G_Patents,5G-SEP.pdf

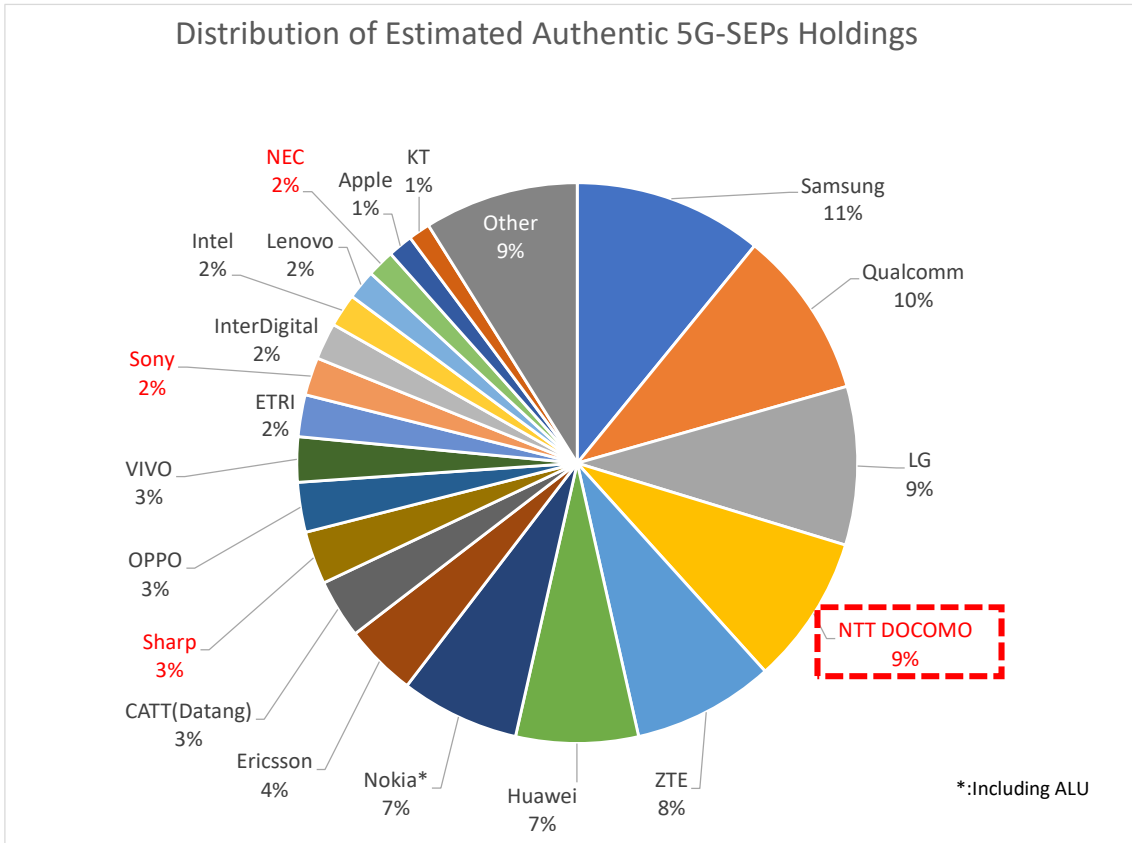
※4 <https://www.cybersoken.com/blog/topics/2021/04/02/2889/#more-2889>

※5 Fair, Reasonable, And Non-Discriminatory terms and conditions の略。ライセンスに際しての金額や条件が公正、合理的かつ非差別的であることを意味する。

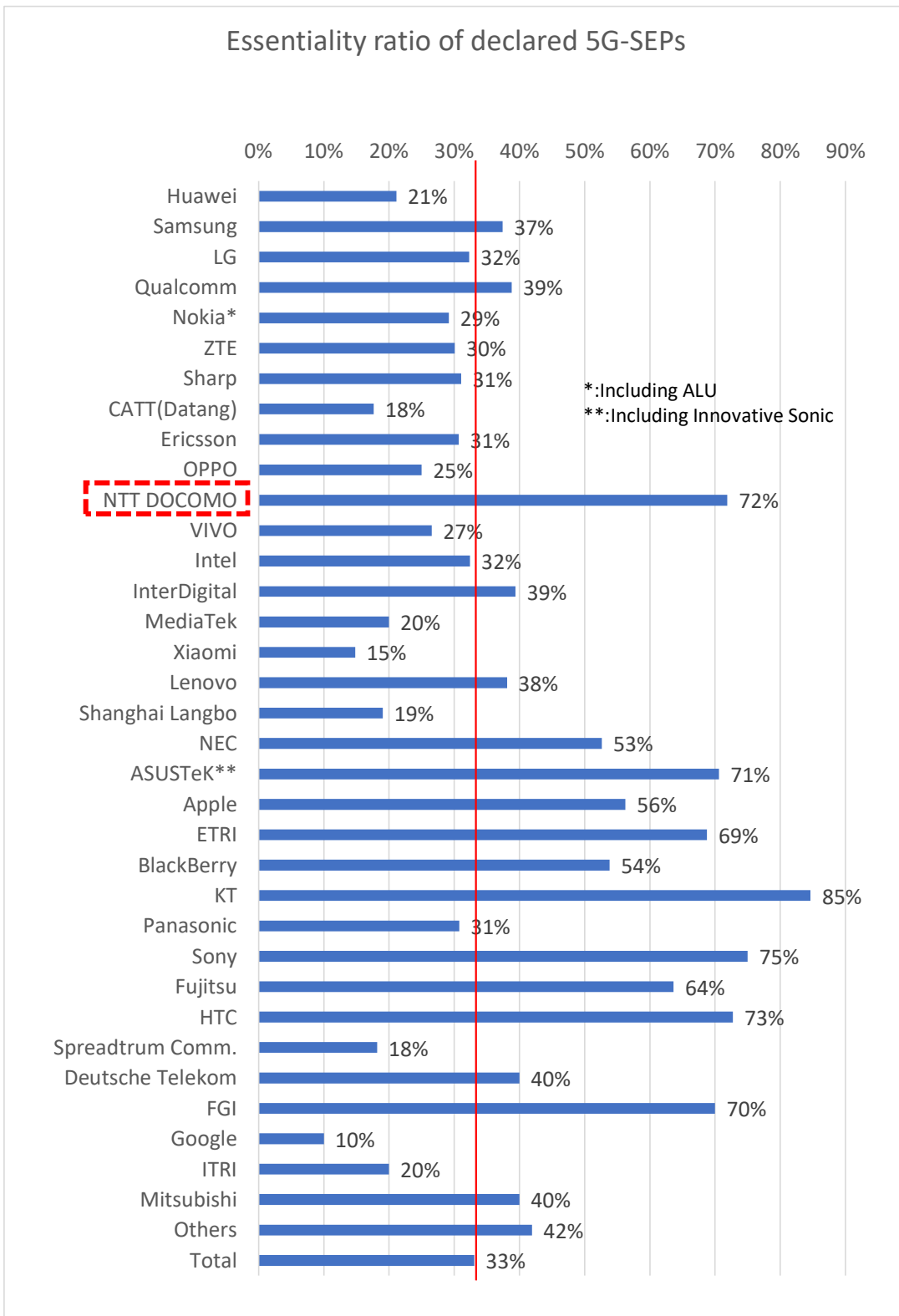
※6 5G 規格関連の特許出願ファミリーは約3,600件。その内、必須宣言をしたファミリーが累計約1,600件(更に追加宣言予定)。ファミリーとは、同じ発明を複数の国へ特許出願した場合のそれらの特許のグループ。

参考

1. 5G 必須特許の保有状況



2. 5G SEP 宣言特許の規格格整合率



出典: 株式会社サイバー創研 プレスリリース(2022年6月1日)

<https://www.cybersoken.com/blog/topics/2022/06/01/3082/#more-3082>